

## 講習会・勉強会活動報告

テーマ：「OSCE の導入～臨床力を身につけるために～」

講師：愛媛十全医療学院

作業療法学科学科長 三澤 一登 先生

日時：平成 26 年 11 月 26 日 17:10～18:40

内容：講義

参加人数：約 70 名（PT OT ST）

今回は、PT/OT/ST の養成校でも徐々に取り入れられている、客観的臨床能力試験「objective structured clinical examination: OSCE」(オスキー)について、利点や実践方法など具体例を交えてご講義いただきました。

まず、教育とは「学習者の能力を向上させるための働きかけ」であり、目標となる能力は「知識・技能・態度」の 3 領域が主となるということから、教育の現状と OSCE の紹介がありました。

続いて、OSCE の特徴や利点について、臨床実習開始前と卒後の臨床場面を例に説明をしていただきました。



後半は、OSCE の実施方法や実践例の紹介がありました。実践例の紹介では、コミュニケーション技法を例に挙げ、チェックリストや採点基準などと併せ説明がありました。

当院では、毎年多くの実習生を引き受けています。また、多くの新人職員が入職します。このような現状の中で、経験的・感覚的に行っているような先輩セラピストの所作を、客観的にみえる形にする重要性を感じました。

今後は、今回学んだことを活かし、臨床教育やセラピスト同士のディスカッションをより有意義なものにし、患者様へ還元していきたいと思いました。

最後に、三澤先生には限られた時間の中ではありましたが、具体例などを踏まえ OSCE について説明して頂きまして、誠にありがとうございました。

(文責 作業療法課長 田中 伸二)